

区議会レポート

46号

2018年6月19日発行

発行

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

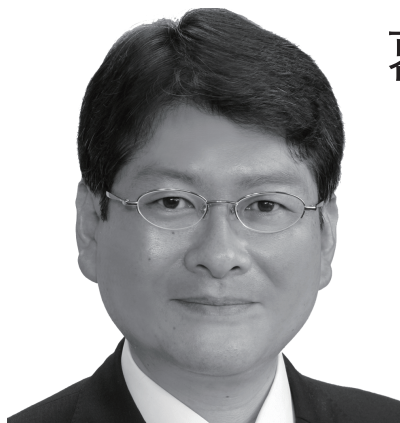
葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：区議会第二会定例会報告

裏面：行政視察・ミタウンミーティング



平成30年葛飾区議会第二回定例会報告

6月18日(月)に大阪で発生した震度6弱の地震においてお亡くなりになられた方に心からお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた皆さまにお見舞いを申し上げます。この葛飾区としても他人事ではありません。人命保護を最優先に防災・災害対策を進めてまいります。

◆区議会第二会定例会が6月12日よりスタートしました。今定例会では第一次補正予算6億7369万円が計上されました。補正予算の内容の一部を紹介します。

○児童福祉費として(仮称)立石六丁目保育園(京成押上線高架下に建設)など3園の私立保育園整備費助成費3億2707万円や東部地域病院へ設置される病児・病後児保育への委託費2994万円などが計上されました。

○観光レクリエーション事業経費として、寅さん記念館・山田洋次記念館のリニューアル2923万円が計上され、寅さん記念館の一階(現在の無料休憩室部分)に山田洋次記念館を移設、カフェテリアの新設など観光振興に向け、施設の更新が行われます。

○電子計算運営経費として1億1435万円が計上されました。来年度の改元に向けて、ICT関連のシステム改修が進められます。

◆以下各委員会での庶務報告の一部をご紹介します。

◆自転車盗難防止について：「葛飾区自転車の安全利用及び駐車秩序に関する条例」が改正され、盗難防止のため駐輪自転車への施錠が責務とされました。

◆梅田児童館・学童保育クラブ大規模改修について：梅田児童館・学童保育クラブが7月2日から12月28日まで大規模改修のため立石地区センター別館(勤労福祉会館)2階大会議室に一時移転されます。移転中の子どもの安全や保育が保障されるように注視してまいります。

◆防犯カメラ設置について：昨年度に続き今年度小学校24校の通学路への防犯カメラ設置が決定し、準備が整い次第順次各学校に5台設置されます。設置予定校は梅田小、清和小、川端小、木根川小、綾南小、中青戸小など24校です。なお昨年度中に葛飾小、本田小、よつぎ小、青戸小など25校に設置されました。

◆葛飾区いじめ調査委員会調査報告書について：この3月に第三者委員会の報告において平成26年におきた生徒の自死について「社会通念上いじめとは評価できない」とされたことに対して、葛飾区としていじめ防止法上のいじめと認めました。ただ、本委員会では自死の認識の欠落による初動の遅れやいじめ防止法の認識の課題、学校の部活動の指導体制なども指摘されており、今後再発防止のために早急に体制整備を求めています。

かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動はFacebookをご覧ください。

かわごえ誠一プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒 ●立石在住30年 ●一男二女の父親 ●保育園/学童保育クラブ父母会、小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、三番瀬保全活動などに携わる ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●前都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●かつしか区民連合幹事長 ●現在所属：議会運営委員会/総務委員会/地域活性化対策特別委員会

総務委員会 行政視察報告

◆葛飾区議会では各常任委員会において各地の先進事例等を調査するために行政視察を行っています。

今年度の総務委員会では、熊本市において災害対策、鹿児島市において大学との連携などの視察をしました。

◆熊本市の災害対応

まず、5月15日に熊本市にうかがい、平成28年4月に発生した熊本地震時の対応について視察をしました。二度の震度7の地震では最大11万人を越える避難者が発生し、避難所数も267カ所を数えたとのこと。避難所では震災を想定した訓練などが実施されておらず、職員に頼る避難所運営が行われ、市職員が日替わり交代で避難所担当になることでの情報共有不足や、避難者との信頼関係が不足、行政の本来業務への支障が出るなど様々な混乱が発生しました。また、全国から支援物資が届いたにもかかわらず受援体制が整備されず、スムーズに配分などができなかったとのこと話されました。緊急時の連絡体制では発災直後は携帯電話などがつながらない状況でしたが、ソーシャルメディアLINEがつながり職員や議員への連絡に活用できたとのことでした。

現在、熊本市では仮設住宅などの被災者のために地域支え合いセンターを設置し、市立病院の看護師を配置し、健康面のサポートをしたり、また、住まいの再建に向けた支援の取り組みを進めているとのことでした。



熊本市議会正面玄関

葛飾区にも参考になることは多く、いつ起こるかわからない自然災害に対して、今まで以上に体制整備を進めていかなければならないと感じました。

◆鹿児島市の大学との連携協定

翌5月16日は鹿児島市の大学との連携協定について視察しました。鹿児島市では市内にある国公立6大学と連携協定を結び、地域の課題解決に向けた取り組みを行っています。これは大学の専門性を活かすとともに「未来の担い手」として若者を応援し、地域への定着をはかる目的で行われているとのことでした。事業として「町内会の活性化を図るワークショップ」「市街地再開発地域のにぎわい創出」「鹿児島らしい国際交流」などが紹介されました。現在、鹿児島市大学連携ネットワーク会議を設置し、連携推進のための取り組みが進められています。連携協定の効果は、中長期的な施策の連携や、複数の部署が関わる課題の連携も可能となったことや、大学の専門的な助言で施策に科学的根拠を持つことができるなどが上げられました。葛飾区でも区内二つの大学との連携を進めたいと思います。

◆鹿児島市のおやじの会支援

公式日程終了後、鹿児島市でのおやじの会の支援についての視察をしました。鹿児島市では教育委員会が市内小中学校のおやじの会へ活動助成制度を創設し、年間最大5万円までの助成金を支出しています。また、おやじの会のスキルアップのための研修や情報交換の場を設け、活動の活性化や人材育成の支援をしています。

おやじの会、父親の会は父親の子育てや教育・地域参加のきっかけとなります。父親の子育てを支援を考える上で重要な取り組みとしてぜひ参考としていきたいと思います。



鹿児島市生涯学習施設

ミニタウンミーティング アートとまちについて語ろう 報告

去る6月12日にシンフォニーヒルズにおいて“かわごえ誠ーミニタウンミーティング～アートとまちについて語ろう”を開催しました。

講師のヨネザワエリカさんから墨田区で行われてきた「墨東まち見世」や「39アート in 向島」などの活動についてうかがいました。一人一人が楽しんでいる多くの事例の画像が紹介されました。アーティストだけでなく普通のサラリーマンや主婦、学生がまちにかかわり、気付き、変わる場になっているということが伝わってきました。「アート」は「デザイン」のようにすぐに課題解決に結びつくということはありません。アートによる取り組みを行ったからといってすぐに何かをもたらすというのではなく、5年後10年後にまちが変わったと感じた時

に、その根本にアートがあったと気づくようなものだと話されました。また、行政との関わりについて職員も仕事以外に人として楽しんで欲しい、それが現場に関わる者として一番うれしい、とも話されていました。

今回は人と人がつながる場や、まちが元気になる仕掛けのヒントをたくさんうかがうことができました。文化芸術・アートは人生の幅を広くすると同じく、まちの懐を深くし、多様な人が集うきっかけになると考えています。今後も継続して文化芸術・アートとまちについて取り組んでいきたいと思います。



ミニタウンミーティングの風景

かわごえ誠ーオフィシャルサイト～ www.kawagoeseiichi.com
日々の活動は Facebook → かわごえ誠ーをご覧ください